指定管理業務モニタリング評価結果

令和6年10月 事務局本部業務課

対象業務		広島西部地域水道用水供給水道、沼田川水道用水供給水道、沼田川工業用水道		
指定管理者		株式会社水みらい広島 3期目 R5.4.1~R10.3.31		
評価期間		令和5年度(令和5年4月 ~ 令和6年3月)		
総評		A	S:優良(要求水準以上の取り組みを実施している項目がある) A:良好(各項目の要求水準をすべて満たしている) B:要改善(各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある)	
業務履行状況	項目	評価	評価内容	
	1 運転監視	0	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。	
	2 水質管理	0	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。	
	3 施設管理	0	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。	
	4 データ管理	0	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。	
	5 委託・修繕	0	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。	
	6 料金徴収・ 窓口対応	0	要求水準書に基づいた適正な料金徴収、窓口対応が実施されている。	
	7 その他	0	清掃、環境衛生管理、地域貢献等が実施されている。	
品質向上等に 向けた取組		 ・過去の実績を踏まえた水運用や水質管理に努めることで、水質異常を発生させることなく、適切な浄水処理に取り組んでいる。 ・最新状況を反映したマニュアル及び運用計画の改定や、想定訓練の実施により、漏水や水質異常の発生にも、迅速な対応ができるよう備えている。 ・水質異常に速やかに対応できるよう、夜間休日の監視や受水団体との定期的な連絡により、水量、水質の常時把握に努めており、監視体制を強化している。 		
提案項目への 取組		 ・水利用の実績に応じた送水ポンプの運転台数や出力の制御など、運転制御の効率化に取り組んでおり、デマンドレスポンスへの参画などのカーボンニュートラルに向け積極的に取り組んでいる。 ・新たな機器・システムの導入やデータのグラフ化による可視化等に取り組み、点検や状態比較の簡素化による作業コストの削減を図っている。 ・職員の技術力向上のため、業務の内製化や研修の講師育成、外部研修の積極的な参加による人材の育成が行われている。 		
その他課題,要望事項等		・引き続き、関係機関等と連携し、適切な水質管理に努めること。・設備機器の健全度評価をもとに予防保全を重視した維持管理方式の策定を進めること。・広域運転監視システムの早期導入による準備を進め、業務の効率化を進めること。		

【評価基準】

- ◎:要求水準以上の取り組みを実施している
- ○:要求水準をすべて満たしている
- ×:要求水準を満たしていない項目がある